



# もりがく県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 金属スクラップヤード規制

# 実効性ある条例制定を

### 木更津市内に不適正事業所

住み良いふるさとづくり  
に全力を挙げている森岳県議(木更津市選出、2期)は6月定例県議会で登壇し、「金属スクラップヤード」問題や木更津港の活性化、漁獲量が低迷している東京湾のアサリ資源回復などについて県執行部に質問しました。都市計画法などに違反するスクラップヤードの操業が各地で問題になっていますが、森県議はこれら不適正な「金属スクラップヤード」を規制するための実行性がある条例制定を要望しました。森県議の質疑と熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。

### 6月定例県議会一般質問

森議員 木更津市に鉄くずや金属スクラップなどを取り扱う、いわゆる「金属スクラップヤード」が突然造成され、外国籍の労働者が多数、従事する企業が進出してきている。

木更津市に確認したところ、市街化調整区域内に事務所を建築するなどの「都市計画法違反」に加え、大規模な森林開発をしているにも関わらず、事業者は森林法に基づく伐採届を市に提出しているのみで、林地開発行為の許可を取っていない「森林法違反」があるとのことでした。

も実施しているとのことだが、事業者は指導に従わず、開発行為がいまだに止まらない状況だ。

「金属スクラップヤード等」は県内各地に所在しており、騒音や振動、火災の発生やスクラップの飛散・流出などの問題が少なからず発生していると聞いている。

そこだろうか、不適正な金属スクラップヤード等に対して、どのように対処しているのか。

環境生活部長 県では、金属スクラップヤード等の堆積物による周辺への影響を防止するため、事業場へ

## 無許可の林地開発 強制力持った 法律整備要望

森議員 無許可の林地開発行為について、県はどのように指導を行っているのか

農林水産部長 法に違反する無許可の開発行為を行った事業者に対しては、適切な手続きを行うよう指導するとともに、森林の有する公益的機能に支障があることが判明した場合には、開発行為の中止や是正の指導を行います。

また、都市計画法や残土条例など他法令にも違反するケースが多いことから、そのような場合においては、関係機関と連携して対処しているとのこと。

の立入りを行っており、当該事業場が廃棄物処理法の対象品目を扱う場合は、同法の保管基準の遵守を指導しています。

また、それ以外の場合であっても、著しく高い堆積や火災発生の恐れなどが認められれば、適正保管等を指導しています。

さらに、これらの事業場は、森林法、農地法、都市計画法等の規制対象となる場合があることから、関係法令を所管する庁内の部局間で情報共有を図るとともに、必要に応じて合同立入りを行って指導するなど、連携

森議員 違法な林地開発行為に対し、現状回復させる強制力を持った法律の整備に向けて、国へ働きかけるよう要望する。

### 森岳県議プロフィール

#### 経歴

- 昭和54年5月31日生まれ
- 平成4年3月 木更津市立鎌足小学校卒業
- 平成7年3月 木更津市立鎌足中学校卒業
- 平成10年3月 県立木更津高等学校卒業
- 平成14年3月 中央大学法学部政治学科卒業  
証券会社勤務後
- 平成16年6月 浜田靖一事務所入所
- 平成27年4月 千葉県議会議員選挙初当選
- 令和元年4月 同2期目当選  
現在に至る

#### 役職

- 県議会商工労働常任委員会委員
- 地方港湾審議会委員
- ちば自民党青年局青年部長

### ●木更津市と県政に関するご意見をお寄せください

森岳 県議事務所  
 〒292-0805 千葉県木更津市大和2丁目6番8号103  
 TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051  
 URL www.mori-gaku.jp/ E-mail info@mori-gaku.jp

して対応しております。  
森議員 先日の我が党の代表質問で、知事から「金属スクラップヤード等を規制するための条例の制定を検討する」との答弁をいただいた。条例の検討に当たっては、実効性のある規制となるよう検討をお願いする。



# 木更津金田西地区

## 進捗率81% 昨年度末

### 土地区画整理、着々と進捗

**森議員** 木更津金田西地区の土地区画整理事業について、事業の進捗状況と今後の取り組みはどうか。

**都市整備局長** 金田西地区では、現在、区域全体で整備を展開しており、昨年度末の進捗率は、事業費ベースで約81%となっています。

また、移転交渉が長期化している一部のエリアでは、一定の期限を設けて積極的

に移転交渉を進め、事業推進に努めているところです。

保留地販売については、昨年度入札を実施した11件の実績として、落札価格が予定価格の2・1倍となるなど、好調であることから、この機を逃さず販売を進め、引き続き、令和8年度の事業完了に向けて取り組んでまいります。

**森議員** 地区内の道路の整備状況はどうか。

**都市整備局長** 幹線道路については、現在、地区内外を結ぶ都市計画道路中野畑沢線など2路線が全線にわたり供用しており、残る3路線についても暫定整備を含め約8割の区間で供用しているところです。

**森議員** 国道409号の金田西地区から国道16号までの区間の4車線化について、国に働きかけるよう要望する。



県執行部の答弁に対し、要望をする森県議

**森議員** 木更津市は、港を核とした街づくりに力を入れており、既存の物流岸壁を利用したクルーズ船の誘致を行うとともに、木更津発展のシンボルである木更津港吾妻地区を活かしたパークベイプロジェクトを推進している。

また、木更津港は、物流面でも京葉臨海工業地帯の一翼を担う県南部地域の経済社会基盤として重要な役割を果たしている。

そこだろうかすが、木更津港の更なる活用・活性化について、どのように考えているのか。

**県土整備部長** 県では、木更津港港湾計画に基づき港湾施設の整備等を行っているところですが、平成22年の計画改訂から10年以上が経過し、社会情勢や港湾を取り巻く環境が変化してきていると認識しています。

このため、現在、県では、木更津港の利用者などにヒ

# 木更津市

## 港を核に街づくり

### クルーズ船誘致へ

アリングを行い、将来の貨物需要や、港の活用に対する課題や要請内容などについて調査を進めているところです。

今後、これらの調査結果も踏まえ、木更津港の更なる活用・活性化に向け、地

元市などと連携しながら、木更津港の在り方について検討してまいります。

**森議員** 船溜まりの整備に当たっては、地元市とともに、利用者などの意見を聴きながら事業を進めていただきたい。

内港航路を適切に維持管理していくために、今後、定期的な深淺測量を行うことにも、航路の水深不足に対し計画的な浚渫が行えるよう必要な予算を確保していただきたい。

## 東京湾のアサリ

**森議員** アサリの増産に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。

**農林水産部長** 東京湾のアサリ漁業は、カイヤドリウミグモの寄生や、魚類・鳥類による食害、波浪による稚貝の流失などにより、漁獲量の低迷が続いています。

そこで県では、ひき網によるウミグモの駆除や、食害等を防止する囲い網の設置、稚貝の流失を防止す

### 漁獲量回復へ 漁業者を支援

る砕石を利用した漁場造成などの漁業者の取り組みに対し、費用を助成するとともに、水産総合研究センターによる効果調査や技術指導を行っているところです。

この中で特に囲い網の食

害防止効果が高かったことから、設置範囲の拡大を促進してまいります。また、砕石による漁場造成の有効性を検証する取り組みなども併せて進め、アサリの増産を図り、漁業者の所得向上につなげてまいります。

**森議員** かずさDNA研究所のこれまでの取り組みについて、県としてどのように評価しているのか。

**知事** かずさDNA研究所では、長年の研究成果を活かした社会実装の取り組みの一つとして、希少難病の遺伝学的検査を実施しており、現在、全国500を超えている医療機関から検体を受け、検査に拡大するなど、医療分野において大きく貢献しています。

また、研究分野においても、生物多様性に関する国際的

## かずさDNA研究所 医療に多大な貢献

なプロジェクトへの参画や、ソメイシノのルーツを解明する研究成果の発表、果肉が傷みにくく輸送に適したイチゴの研究開発など、最先端のゲノム解析技術を活かした取り組みが進められています。

県としては、かずさDNA研究所が健康、医療、農業をはじめとしたバイオサイエンス分野のイノベーションを支える重要な拠点として、研究開発能力の維持と安定的かつ持続的な運営ができるよう、引き続き支援してまいります。

**森議員** 地域住民の安全確保及び不安解消のため、今後も早期に撤去していただくようお願いする。

**県土整備部長** 小櫃川河口付近の蛇行している区間で、約300トンに達する土砂が堆積しており、現状では川の流れを阻害するおそれがあることから、今年度、堆積土砂の撤去に着手することとしています。

引き続き、土砂の堆積状況を把握し、適切な河川の維持管理に努めてまいります。

**森議員** 小櫃川河口付近の堆積土砂の撤去を行うべきと考えますがどうか。

**小櫃川河口付近 堆積土砂の撤去急げ**

**森議員** 小櫃川河口付近の堆積土砂の撤去を行うべきと考えますがどうか。

**千葉県産水産物 認定31品目**

**森議員** 県産水産物のブランド化に向けて、どのように取り組んでいるのか。

**知事** 県では、全国に誇りうる優れたものを「千葉ブランド水産物」として認定し、現在31品目を県内外に広く紹介しています。

この認定の拡大に向けて、県では、安定供給に向けた増産の取り組みや、活け締めなど漁獲物の高鮮度出荷の取り組み、手軽に食べることで加工品の開発など、生産者が行う新たな取り組みを支援しているところです。